

## NPO法人くらしき放課後児童クラブ支援センター研修

2022年11月18日13:00～

頑張れ新人OT！  
～岡山の同志にエールよ届け～



社会福祉法人 美樹和会  
尾崎 将充

## 自己紹介

尾崎将充(おざき まさみつ)

今: 保育園と学童で働く作業療法士

かつて: 急性期の総合病院に勤める作業療法士



## 岡山とのご縁

・もとを辿れば、学生時代に読んでいた本で糸山さんを知ったこと。



- ・2022年、糸山さんからOTにIT(あいてえ)なる勉強会に誘われ、
- ・7月に叶った岡山出張にて糸山さんや光井OTと出逢う！

## やる気が萎えた自分に1度目の”転機”

- ・精神科OTを目指してこの道に進むが、見学実習も授業も「思ってたんとちゃうかった」..
- ・今年で辞めようと思っただけ2年冬の実習で出逢った子供達が懸命に生きようとする姿に心が動く。
- ・3年春から学童のバイトや学生団体の代表として教育・保育学生との連携に取り組む。
- ・発達一本とっていたが、4年の実習でハンドセラピーにも興味を持ち、まずは幅広く経験を積める病院を選んだ。



## 歯車からの脱出。



- ・入職した急性期病院では日々、色々な患者様に出会う。  
ハンドも脳も、難病も、どれも**患者さんの力にはなりたい**・・・

・流れてくる仕事を淡々とこなすが、学びもいつの間にかさせられる的に

- ・早朝回診と夜間診療の14時間労働の日々の中で早くも悟る。  
**病院は「僕」ではなくセラピストが稼ぐ「単位」が欲しいだけ？**。  
(患者様お一人お一人との関係は決してそう言ったものではないが)
- ・この仕事は、結局、僕でなくてもいいのでは？

## 呼び覚まされる原体験

### 【学童のバイト】

- ・元気付けられた**学童**の子ども達の笑顔。  
**学童でOTとして働けないのかな・・・？**



### 【学生団体BUOTの代表】

- ・自らアイデアを着想し、仲間を集めてプロジェクトを立ち上げる**喜び**
- ・悩み、交渉し、達成する中で知ってしまった自分で成し遂げる**快感**  
**想いを形作るうえで自分の裁量をもてる仕事はないかな・・・？**

## 2度目の転機・・・

あった！

- ・学童を**新規立ち上げ**するという話。
- ・障害児のために専門職を自前で雇う  
社会福祉法人・・・**美樹和会**？
- ・まずは門を叩いてみることにした！



## ノルマからの解放で得た再発見！

- ・病院を出て、カルテや書類業務も単位のノルマもなくなった。
  - ・子供達と遊ぶ毎日は疲れた僕の心を癒してくれた。
  - ・もうOTじゃなくて**学童の指導員の方がいいかも**とも思った・・・。
- ところが、
- ・だんだんとエネルギーが再び蓄えられ始めた今年の秋ごろ、
  - ・僕はやっぱり**OTの仕事が好きだ**と気づいた。

## 保育園にも学童にも存在意義がない現実

いざ、OTとして何かしようと思っても、ここは未踏の地・・・

- ・ときに食い違うOTと保育士と考え・・・。
- ・学童でも保育でもOTが必要とされていない現状・・・。
- ・病院では考えもしなかったOTの存在意義の疑念・・・。
- ・児発施設などから頂く管理職級オファーに心は動いたが・・・。

## ここで逃げ出すわけには行かない。

- ・学生時代に教育・保育学生と立ち上げたプロジェクトで感じた可能性。
  - ・多職種連携の壁を越えなければ僕の夢は叶わない。
- まずは保育園にOTがいて良い存在になるために、OTの可能性は信じつつも、今はプライドを捨てよう・・・
- ・現場に寄り添うために現場の専門性を学ぼう！
- ⇒保育士と放課後児童支援員を学び、資格も取得。



## 尾崎のプライドと自信

・難局を迎えたとき、自分はどんなことをして乗り越えてきたか・・・

→想いを伝えながら内に外にと仲間を集めた日々。

・困ったときに頼りになる自分の強みとは・・・

→幅広いネットワークと怖いもの知らずな行動力。

その道の第一人者と連携を構築しノウハウを直接導入できる売り。

一からプロジェクトを立ち上げられるという自信。

## 仲間に入れてもらうことを目指す

- ・午前中は保育園、午後は学童で毎日みぎわの保育方針を学び、
- ・保育士の動きを見て、聞いて、一から動きや考え方を学ぶ日々。
- ・上手いかず、ダメ出しをうける中で保育の人手としても自信を失う。
- ・現場で役に立ちたいと願いつつもそうなれていないもどかしさ・・・。

いつか叶うと信じて・・・まず目指すべきは、

「この保育園にいい存在になること」

(岡山では学童の現場でOTが必要とされていると知っていたから。)

## 少しずつ現場の仲間入り

- ・午前は**保育園**で乳幼児の保育現場にかかわり、
- ・午後は**学童保育所**で小学生たちの健全育成を支える日々。



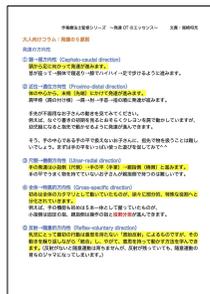
保育園



学童

## 発達支援コラムの作成

保育に活かせる作業療法士のエッセンスを自作のコラムにて紹介している



- ・他園巡回時のFB
- ・内部研修の資料
- ・法人HPでの配信

## 遊びのカタログ作成



OTの目線での遊びの効用と活用法をこども向けに解説!

親御様向けにも連載を定期的に配信!



## 地域子育て支援講座

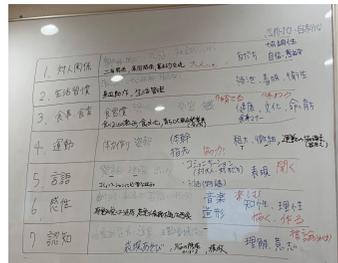
対象: 近隣の子育て家庭向けの開放講座

内容: 作業療法士による発達を促す遊び紹介



## 年間カリキュラム(指導計画)作成

- ・保育のユニバーサルデザイン化を目指す一環で年カリを**多職種**で作リ直し！
- ・メンバー: 理事長、園長、主任、心理士、作業療法士、給食室長
- ・項目決めと**分担執筆**などを進めている。



## 動の空間(プレイルーム)の整備・運用

- ・学童3階に発達支援遊具を整備、運用、日常点検などを行っている。



アネビーとの連携



太田篤志先生のコンサル



## 静の空間(スヌーズレンルーム)の整備

- ・3階に動の空間を整備する一方で、視覚聴覚刺激などに敏感なお子さんが、落ち着いて過ごせる場を、**スヌーズレン**の考えに基づいて整備した。



・支援が必要なお子様にとって学童はときにストレスフルな環境となりやすい。

・逃げ込める場所、気持ちを落ち着ける場所を用意しておく必要性を実感。

## 自然保育(みぎわビレッジ)の活用法検討

自然保育の場(山の家、キャンプサイト、川遊びゾーン、農園、グラウンド)整備



多職種で描く、ユニバーサル保育の立ち上げに参画

- ・金沢市の農家民宿を視察。
- ・リハDrによる「**里リハ**」の取り組みから、当園の自然保育での活用について意見交換。



## 学会での発信・連携強化

日本コミュニティ心理学会  
(2022年9月24日～25日)

保育現場での多職種連携に関して、  
オンライン学会で心理職と共同発表



※11月14日はOT学会関係者への招待企画も実現！



OT journal  
(三輪書店)  
から  
学会印象記の  
原稿執筆依頼

日本作業療法学会での外交  
(2022年9月16日～17日)



## 出張など外部連携・外交



宮崎宏興先生(たつの)  
苅山和生先生(三原)  
太田篤志先生(姫路)  
西本寛先生(神崎)  
森川芳彦先生(倉敷)  
西江勇太先生(岡山)  
田邊望先生(金沢)  
など(訪問順)

## OTとみぎわのビジョン

・保育園や学童に常勤の作業療法士として雇用される今、非常勤OTのコンサルテーションとは一味異なる貢献の仕方も模索していきたい。



・多職種協業で行うユニバーサル保育プロジェクトを進め、他の地域で同様の理念で取り組む同志を見つけて良い連携を作っていきたい。

## 最後に伝えたい！

君は一人じゃない。

光井くんに、

エールよ届け！

京都のOT

